

心ゆたかに

発行 株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250
ホームページ <http://www.tenpou.co.jp/>
Eメール tenpou@mail.wbs.ne.jp

第 102 号 発行日 平成 24 年 11 月 1 日

あの現場は今

各建設現場の進捗状況

新聞を配布して回っていますと、「〇〇寺さんのところはもう出来たの?」とか「△△院さんのところは今どこまで進んでいるの?」などと、同じ宗派や法類に当たられる寺院の工事の進捗状況をお尋ね下さる時がございますので、紹介致します。

浜松市西区志都呂町の潮鏡山妙



妙相寺様の本堂と書院玄関 (平成 24 年 10 月撮影)



華嚴院様の書院と書院玄関 (平成 24 年 10 月撮影)

相寺様 (臨済宗妙相寺派・正山豊昭住職) では、本堂は内部造作を大工が順調に進めており、天井を張り始めました。位牌堂全解体修理の木工事は終了しており、完成は来年五月末を予定しています。

掛川市上土方落合の梅月山華嚴院様 (曹洞宗・末永昌一住職) では、書院は屋根が葺き上がり堂々とした姿が見えてきました。庫裡は屋根、外壁下地が完了しています。鐘楼堂や山門の解

体修理も並行して施工しており、段取り良く工事を進めております。なお、書院の完成後には本堂の改修も予定しています。

磐田市新貝の三白山連城寺様 (曹洞宗・馬場照文住職) では、庫裡の工事が大詰めで内装工事もなく終了し、十一月末の工事完了予定です。

その他現場が重なっておりますが、弊社一丸となって丁寧な仕事を進めております。



連城寺様の庫裡 (平成 24 年 10 月撮影)

「少子高齢化」

日本テンブルヴァン(株) 井上拓郎

「人口の減少がお寺に及ぼすもの」

日本の総人口は2006年をピークに減少しています。年間死者数は2030年代後半のピークに向い増加していきます。

また地方から首都圏などへ人口が流入し、一部地域では過疎化が深刻な問題となっています。そこで今回は「少子高齢化」がお寺に及ぼす影響についてお話しします。

人口の減少によって直接的にご寺院に係する問題として、お檀家の減少が挙げられます。最近の宗勢調査などでも「檀家が減少している」と回答したご寺院が、過去のデータと比較して増えてきています。当然、お檀家が減少するとお葬儀や法事も減

少しますから、ご寺院にとっては死活問題です。

お檀家数の増減が少ないご寺院でも、墓地の継承者がおらず無縁になってしまっている墓地は増加傾向です。この事は人口減少の影響だけでなく、核家族化の影響もあると思われませんが、最近の墓所事情としても継承者の必要のない永代供養墓(合祀墓)や納骨堂(ロッカー式、機械式)の需要が増えています。

関東では都立小平霊園樹林墓地(東京都小平市)や、横浜市営墓地メモリアルグリーン(神奈川県横浜市戸塚区)などのように、公営で樹木葬の墓所を提供しています。また他県に所在する宗教法人が、東京に別院を設けてビル型の機械式納骨堂の建設計画があるのを耳にしました。ただ、実際には納骨堂の経営許可がおりるまで実現可

能と言えませんが、一般のご寺院様からの納骨堂や永代供養墓に関する相談が増えてきているのは事実です。この事は人口減少によって、寺院を取り巻く環境の変化に対応すべく、寺院が時代のニーズに対応する為なのだと思われまます。

「後継者問題」

最近、私がお伺いするご寺院で後継者問題についてのご相談が増えてきました。「息子はいるけど、企業に勤めていて後を継いでくれるのか分からない」、「息子(娘)はいるが、まだ独身」、「子供がいない」といった話をよく聞きます。

副住職(ご子息やご息女)が私と同世代

(次頁へ続く)

だと、ご住職に「だれかいいい人はいますか？」と聞かれたりすることもあります。

少子化や晩婚といった時代背景の影響もあると思いますが、お寺の跡を継ぐ方がいないのは憂慮すべき事だと思います。

ほとんどのご寺院では、代表役員を世襲するところが多いでしょうが、跡を継ぐ者がいない為、世襲出来ずに養子縁組をするご寺院も少なからずあるのが現実です。

養子縁組をした場合、師弟としての関係と戸籍上の親子となりますが、代表役員を退いた後、どの様にその後の生活をするのか事前の準備が必要となります。

勿論、家族同然にその後も生計を共にできれば問題はありませんが、全く別生計だった方が跡を継いだ場合は、この限りではありません。

あるご相談をいただいた寺院では、跡を

継ぐ方がおらず、同じ宗派・教区の法類寺院に跡を引継いで頂きました。そのご寺院

の寺院規則にも代表役員の継承順位が明記されており、規則に従い、責任役員会を経て代表役員の職を勇退された訳ですが、た

またま境内地以外に個人名義の不動産を所有していた為、ご勇退後の住環境においては、取り立てて問題となりませんでした。

しかし、境内地以外に個人名義の不動産を所有しているご住職はそんなに多くないと思います。宗教法人はあくまでも法人であり、代表役員を退いた後は個人となります。

後継者がいない場合や、勇退後の生活が心配な方は、退職金制度などで防衛策を講じておいた方が賢明だと思います。

退職金を寺院会計から一時金で用意できるのは限られたご寺院かも知れませんが、事前に準備をすれば十分検討に値するでし

よう。次回はこの退職金制度について説明させていただきます。

曹洞宗龍源院様で見学会

静岡県袋井市山田

来たる十一月二十七日（火）、袋井市山田の虎峰山龍源院様（真川義孝住職）において、書院の完成見学会を予定しております。

詳細は天峰建設までお尋ね下さいませ。



完成間近の龍源院様の書院（平成24年10月撮影）

知って得する

河豚（ふぐ）の話

秋になってもなかなか暑い日が続くなと思うていたら、いつの間にか鍋が美味しい季節になってきました。以前鍋の具としての連想で鮫鱈（アンコウ）を取り上げましたが、実は一度も食べたことがありませんでした。今回も恥ずかしながら自分では試したことのない河豚（ふぐ）の話です。

河豚はフグ目（カワハギやマンボウも含まれます）フグ科に属する魚の仲間、ずんぐりした体形と威嚇のために体が膨らむのが特徴で、まれに無毒なものもありますが多くは肝臓や卵巣などの内蔵や血液などにテトロドトキシシンなどの猛毒を持っています。熱帯から温帯の暖かい海に分布し、日本では北海道以南の沿岸部で漁獲されます。

河豚と言えば山口県下関市が有名ですが、全国的に河豚食が禁止されていた明治時代に、下関で河豚を食べた伊藤博文が感動して山口県

知事に働きかけた結果、全国で最初に河豚食が解禁されたため、調理法が確立して専門店が増えたことにより増えました。下関の河豚の漁獲量が全国一だからという訳ではないのです。その後全国的にも河豚食は解禁されましたが、今でも高級魚として扱われるトラフグの多くは下関に送られてから、下関のブランドとして全国に出荷されます。

最近では地元で獲れた河豚を地元で消費しようという動きが出てきました。実は地元静岡県でも遠州灘はトラフグが結構獲れ、館山寺温泉を中心に地産地消の活動に力を入れています。輸送の時間やコストが省かれるため、新鮮なものを安く食べることができるメリットがあります。

河豚は下関では縁起から「ふぐ（不遇・不具）」と呼ばずに「ふく（福）」と呼ばれますが、大阪では（毒に）「当たると死ぬ」から「て

っぽう（鉄砲）」と呼ばれます。河豚の刺身のことを「てっさ（てっぼうの刺身）」、河豚ちり（鍋料理）のことを「てっちり（てっぼうのちり）」と呼ぶのはこのためです。

河豚は高タンパク低脂肪でコーゲンたっぷり。肌荒れやニキビに良いナイアシンも含むので、値段は張りますが美容に良い食材と言えます。トラフグと同じくらいの漁獲高があるマフグは多少味が落ちるようですが、価格は十分の一程です。美容のために食べるのであれば、トラフグよりもマフグの方が安上がりですね。

防波堤などからの海釣りでも釣れる河豚ですが、素人では毒を持つ種類かそうでないか見極めるのが難しく、種類によって毒を含む部位が違い、同じ種類でも季節や環境で毒を含む量が違います。無資格の人は決して自分で捌いてはいけません。